



『君の名は』

菊田一夫

菊田一夫は明治四十二年、横浜に生まれたが、家庭の事情で小学三年生から一年間、養母の出身地である南島原市加津佐町で過ごした。

戦後、ラジオドラマ「君の名は」等が大ヒットし、劇作家として活躍した。「君の名は」では雲仙がNHKの放送劇のロケ地となり、現在も観光名所になっている。

自伝的小説『がしんたれ』があるが、大阪神戸などで丁稚奉公をしながら文学を志し、十七歳で上京した。

加津佐海岸に建立された詩碑には、次の一節が刻まれている。

がしんたれ

けふは泣きけり

故郷の

海の青さよ